

ファシリテーター養成講座

全3回シリーズ

“対話の場づくり”を楽しむ

R6.9.6(金)：いわみーる

第2回 ～ひろがる！ファシリテートイメージ!!～

【アイスブレイク】 【OR】 【情報交換】



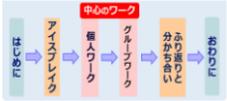
作成プログラムの
タイトル・手法

- ☆ドキドキ・ワクワク！小学生（ラベルワーク）
- ☆地域の困った！みんなで解決してみない？（ラベルワーク）
- ☆「わたし」「あなた」が顔の街づくり（ラベルワーク）
- ☆子育て世代のつながりづくり（ラベルワーク）
- ☆ふれあいまつり展示会をより良いものにする（ブレインストーミング）
- ☆“良いクラス”って何か考える（ラベルワーク）
- ☆安否確認のチエを出す（ラベルワーク）

【ミニレクチャー】ファシリテートカUPのPOINT ～人を元気にするFacilitator～

□学習プログラムについて

学習プログラムの流れ



学習プログラム実施までの準備

■学習プログラムづくり

- ・目的（ゴール）
- ・流れ（つながり、時間配分）、手法、問い

■会場づくり

- ・広さ、レイアウト、室温、音、香り
- ・班編成、ホワイトボード

■モノづくり

- ・ワークシート ・小道具

様子を想像しよう

■参加者のこと…動き、意識、思いの流れ

■会場のこと…机、いすの配置や動き

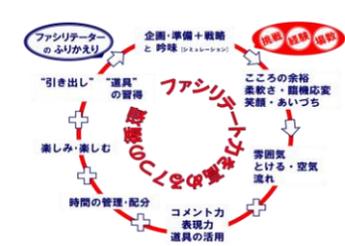
■モノのこと…ワークシートや小道具を使うタイミング

学習プログラムづくり

■地域魅力化プログラムを参考に

□ファシリテーターについて

ファシリテートカを高めるために



ファシリテーター 量upのための3POINT

観察して学ぶ 意識して参加する チャレンジする

司会・進行 自分なりのスタイルでOK

ファシリテーターの基本姿勢
主役は「参加者」



- 笑顔
- 指示・問い…短く・わかりやすく
- 操作的な言動…つつむ
- 雰囲気…開放的に
- 気にかける…進み具合
- *ハプニング→やり直す、さらけ出す

□おわりに

- みなさんの中には力がある
 - ・自分を信じて ・仲間を信じて
- 楽しもう
 - ・アイスブレイクと一緒に楽しもう
 - ・「楽しむ」気持ちをもつ
- “やり遂げた”を味わう
- “うまくできた”を貯める
 - ・自分から ・周りの人から
- “うまくできなかった”はチャンス
 - ・違うやり方を選ぶ

準備は入念に
始まったら
大胆に



【演習①】リハーサル

【演習②】リハーサル

中心のワーク部分のみリハーサル+意見交換

リハーサル前



【演習③】ブラッシュアップ

リハーサルをもとに気づいたことを修正したり、第3回に向けて練習したりする

○アイスブレイクについて

- ・中心のワークにつながるものにする
- ・実際にやってみる…など

○プログラム全体のブラッシュアップ

- ・進行表の加筆や修正
- ・手法説明の手順やセリフの確認
- ・準備物の確認

◆全体の流れに一貫性はあるか

◆ねらいを達成する流れになっているか

◆無理や無駄なものはないか

◆時間配分は適切か（余裕をもった時間設計を）



こんなアイスブレイクあります
（盛り上がりそうだね！）



準備は入念に



「相談があるんですが…」



進行表の修正や
準備物の確認



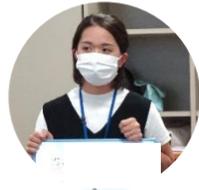
【ふりかえり】今日の学習をふりかえって、第3回への意気込み

- ・自分を出さず聴くことに徹する
- ・主役は参加者 みなさんも自分も楽しめる場づくり
- ・落ち着いてすることを意識する みんなが楽しく気軽に話せるように
- ・“主役は参加者”“発言は短く”
- ・（参加者）保護者同士のつながりを図る（リラックス）
- ・準備大事！楽しむ大事！
- ・“ねらい”は明確に 進行しすぎず ファシリテートする！



研修協力者からのエール

- ・絶対大丈夫です！仲間、安心、楽しんで！！
- ・笑顔で楽しむ
- ・準備8割-OK あとは…笑顔
- ・準備8割を自信に変える！
- ・楽しんで！みんな味方です。
- ・等身大（でいい）



【アンケートから】一部抜粋

- ・リハーサルをしてみてファシリテートの難しさがよくわかった。
- ・日程はちょうどよいと思った。ブラッシュアップの記入時間をもう少し取れたらよい。
- ・実際にリハーサルをやってみることで、イメージや足りない部分を知ることができた。プログラムを作ったら、実際に簡単でよいのでやってみるというのは準備の1つとして取り入れていきたいと思った。分かりやすい指示やうながす声かけを改めて考えていきたい。

- ・準備の時間がしっかり確保されていてよかった。実践する中で改善点が見えてきた。作成する中で色々な助言をいただけて助かった。
- ・第3回の本番に向けて事前にリハーサルできたので、改善点などを見つけることができた。楽しめる場づくりができるように準備したい。